

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. SSH（スーパーサイエンスハイスクール校）としての取り組み

①Lake Biwa International Science Fair（11月9～13日）

本校は2010年2月に「高校生国際みずフォーラム in 湖国・滋賀（以下IWF）」を開催、世界8カ国20校の高校生たちと「世界の水問題にどう関わるか」をテーマに、「水と科学」「水と生物」「水とくらし」の視点から研究発表を行い、共同宣言を世界に発信し、高い評価を得た。

本校ではこの取り組みを独自に発展させ、本年度は10周年記念行事の一環として「Lake Biwa International Science Fair」を実施。海外から5校16名、国内から5校17名の高校生を迎え、前琵琶湖博物館学芸員の指導の下、琵琶湖南湖の2カ所の砂浜湖岸で、水深60cmにすむ貝類・水草とその非生物的環境を調査・分析を行い、協働して英語で研究発表を行った。その過程で、サイエンスグローバルリーダー育成につながる取組になった。

②食育アンケート分析ポスターの発表（2月10日）

第1学年必修の学校設定科目「科学探究I」において、家庭科で実施された「食事バランス調査（農林水産省）」の個人データを活用して、「食事バランスのいい人は・・・である」という仮説を立て、それを検証するためのアンケートを各自が作成。各クラスの優秀なアンケートを1つにまとめ、第1学年全員がそのアンケートに回答して得た集計データを、各生徒が情報の授業で学んだ手法でグラフ化、考察を加えて1枚のポスターを作成した。SSHの成果発表会でその優秀作品のポスターセッションを実施した。

2. 公民科 現代社会（高校1年生必修） 2単位

①夏季休暇中課題として、JICA中学生・高校生エッセイコンテストに全員が出品。

* 以下の賞を受賞

- ・ 関西国際センター所長賞（1名）
- ・ 滋賀県青年海外協力協会会長賞（1名）
- ・ 学校賞

3. 総合学習 高校2年生（アカデメイアコース）海外研修（事前・事後学習を含む） 期間：10日～12日間

①フロンティアスピリット・プログラム

1) 語学研修・ホームステイ 研修地：カナダ

派遣先での英語研修とその活用を目的とした参加体験型の活動を通して異文化交流と実践的語学力を身につける。また旅程の一部を計画させることで企画力や実行力を養う。

2) グローバルリーダー 研修地：ボストン

MIT公認メソッドを用いたワークショップを通して、グローバルリーダーを育成する。

- 3) スポーツアスリート 研修地：フロリダ
世界最高水準の施設および一流コーチ陣のもと最先端のスポーツスキルを学ぶとともに、スポーツを通じて英語力の向上を図る。
- ②アカデミックリサーチ・プログラム
- 1) インターンシップ 研修地：シカゴ、シアトル
派遣先でのスクーリング後、海外現地企業等でインターンシップ（就業体験）やリサーチを行い、グローバルな視野と実践的英語力を身につける。
- 2) 理系フィールドワーク 研修地：タスマニア
派遣先でのスクーリング後、環境等をテーマとしたワークショップ（調査・研究・発表）を体験し、英語によるアカデミックスキルズを身につける。
- ③国際ボランティアプログラム 研修地：バンコク
国際 NGO ハビタット・フォー・ヒューマンティリーの活動（住居建築）を通じて、「貧困」が家族や地域に及ぼす影響について学び、自分たちにできることを考えるとともに、現地の自然や文化・習慣・歴史・社会制度に関する認識を深める。
4. 総合学習 高校1年生（フロンティアサイエンスコース）海外研修（事前・事後学習を含む）
研修地：ベトナム
ベトナムの医療・福祉施設での研修を通して、自分たちができることを考え、行動する力を養う。また、現地校数学科の高校生との共同学習を行う。
5. 学校設定科目「国際協力」（高校3年生必修） 1単位
- ①計6回にわたり、国際協力の第一線で活躍する各分野の経験者を招き、講演会を行った。
講演団体：NGO フリーザ・フィル・イン・ジャパン/NPO 法人 D&P/関東プレインズ・バプテスト教会/JICA 関西/NPO 法人ユナイテッドアース/味の素/自衛隊
- ②「自分たちにできる国際協力」と題し、各グループで国際協力プランを策定しプレゼンテーションを実施。
- ③ボランティア活動の実施
授業を通じ、ボランティア活動に取り組んだ。書き損じはがきやテレホンカードの回収、エコキャップ運動などプレゼンに基づいて活動を行った。昨年まで実施していた東北でのボランティア活動は、応募人数が少なく今回は見送った。
- ⑤上記の学びを「アカデミックプレゼンテーション（校内学術成果報告会）」で報告。
6. 学校設定科目「世界遺産」（高校3年生文系選択） 2単位
- ①世界遺産を通じて、人類史における転換期と、世界の歴史の大きな流れを掴み取り、地球的な視野で異文化を理解し人類の共通性・民族の異質性を理解した。また、世界遺産を通じて、現代社会の諸課題を理解し、その改善方法や解決策について考えた。
- ②1年間で19の世界遺産について勉強。一部、外部講師（ガラパゴスの会、世界

遺産アカデミー) を招いて、専門的に学びを深めた。

7. 国際交流活動

① 学校訪問

- 1) Glenbrook South High School (米国・シカゴ)
2016年6月16日(木)～2016年6月21日(月)
生徒数：13名(男子4名、女子9名) 引率教諭：2名
授業参加と交流活動

② 国際プログラム参加者

- 1) 日英 Science workshop：2016年7月14日～7月24日 英国 4名
日英の高校生によるテーマ別ワークショップ(於：ケンブリッジ大学)
- 2) ミシガン交流プログラム： アメリカ・日本 8名
【前半】2016年7月17日(日)～7月28日(木) アメリカ・ミシガン州(五大湖)
【後半】2016年7月31日(日)～8月10日(水) 日本・滋賀県(琵琶湖)・京都
滋賀県の姉妹都市であるアメリカ・ミシガン州のミシガン州立大学と連携し、琵琶湖や五大湖の水環境の調査や施設見学を行い、生活に活かされた科学知識の学習をするプログラムを実施した。この活動を通し、水環境に関する興味関心と科学技術系能力、両地域における共通の課題を見つけて一般化する力が向上するかを検証した。
- 3) World Youth Meeting:2016年8月7日～8月8日 4名
台湾の生徒と本校生徒との協働活動(開催地：日本)
- 4) ドイツ・ポーランド ピーススタディツアー：2016年8月3日～10日 10名
第二次世界大戦勃発の地ワルシャワ、ホロコースト(ユダヤ人迫害)の地アウシュヴィッツ、大戦終結の会談が行われたポツダム、そしてその後の冷戦時代を象徴するベルリンを訪問し、単に戦争の悲惨さだけではなく、人間の本质について理解する。また、ポーランドやドイツの学生と交流し、相互に異文化理解を図りながら、21世紀におけるグローバル社会のあり方を考える。
*なお、国際ボランティアプログラム(バンコクコース)の活動は、JICA グローバル教育コンクール2015において、団体奨励賞を受賞した。
- 5) Aian Student Exchange Program (ASEP)：2016年12月22日～12月28日 3名
台湾の生徒と本校生徒との協働活動(開催地：台湾)
- 6) UBC 研修： 2017年1月2日(月)～3月26日(日) カナダ 5名
カナダ The University of British Columbia におけるアカデミックスキル習得プログラム

8. ユネスコ委員会活動(校内生徒有志組織)

① 外部セミナーへの参加

- ・ JICA 開発教育入門セミナー(6月)
- ・ JICA 国際教育セミナー(7・8月)
- ・ 多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー(8月)
- ・ ワンワールドフェスティバル for youth(12月)

② JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト出品

③ ワンワールドフェスティバル for Youth

生徒実行委員会（2名）、活動報告会（3名）、ブース出展（8名）

フェアトレードに関するワークショップ、難民問題に関するワークショップを本校企画で実施

④ユニセフ外貨コイン募金活動

⑤吹奏楽部定期演奏会でのフェアトレードリップ（本校生徒と企業のコラボレーション商品）販売

9. サイテック部による活動（部活動）

「大川活用プロジェクト」という旧野洲川南流である大川を「里川」に再生させていく取り組みを地域自治会・守山市・京都大学東南アジア研究所と共同で取り組みを進めている。

<大川における地域貢献>

①第6回大川フォーラム（2月18日）

地域自治会館で、大川活用プロジェクトの各構成団体等から発表が行われた。本校サイテック部は、大川の水質改善のために予定されている大川への導水の前後で水環境がどのように変化したかを判断できるように、主に底質を中心とした水環境の現状について四季を通じて調査分析を行い報告した。

また、サイテック部卒業生が、大川活用プロジェクトの大学公認のボランティアサークルをつくり、来年度の春に地域おこしのイベントの実施要項を発表した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）